

# 決算特別委員会

# で徹底調査

細かくチェック  
しました!



Q

コンビニ交付運営負担金 70 万円の内容と  
コンビニ交付の利用状況はどのようなか。

A

個人番号カードを利用してコンビニエンスストアの多機能  
端末で住民票等の交付を受ける、コンビニ交付を実施す  
る自治体が、地方公共団体情報システム機構 (J-LIS)  
に支払う負担金で、年間利用件数は 439 件であった。

質疑の一部を  
お伝えします♪



Q

消費生活センターへの相談件数は、前年度に比べ  
92 件増加し 396 件であった。どのような体制で  
対応し、また、相談内容の傾向は。

A

2 名の職員が平日の 9 時から 5 時まで勤務し、相談等業  
務を行っている。近年は、高齢者宛に身に覚えのない支  
払いを求める不正請求はがきが届くなどの案件が増加して  
いる。



Q

平成 29 年度の農業用水路整備状況はどうか。

A

幹線水路及びそこから各農地へ分岐する水路につい  
ても老朽化が進んでいる。現在は水漏れ等老朽化が  
進む箇所等への対応を行っている。29 年度は上之  
手地区農業用水路改修のための測量設計を実施し、  
今年度工事を行っている。その他、川井地区や飯倉・  
五料地区についても改修等が必要であり、昨年度  
調査を行った。



Q

平成 29 年度の道路補修事業については、補修工事費が  
1 億 729 万円、原材料費が 311 万円であった。  
それぞれの違いは。

A

年度当初から予定している補修については、補修工事費で支出する。  
原材料費については、町の道路パトロールや町民からの情報等により、  
道路の穴等が見つかった場合に緊急的に補修する費用である。緊急補  
修については、地区ごとに業者を割りつけることで迅速に対応している。

Q

国際交流協会が主催する日本語教室の利用状況は。  
またボランティアは足りているのか。

A

ベトナム籍の方を中心に登録者は 130 人ほどで、1 回の教室の参  
加者は 60 人程度である。ボランティアとして県立女子大学の学生  
に多く協力いただいているが、今後も広報等で周知・募集してい  
きたい。

Q

平成 29 年度に実施した水道管網整備は 3.2 キロで  
あったが、施工場所はどのように決定しているのか。

A

29 年度は町道 220 号線の築造工事があったため、そ  
ちらをメインに工事を実施した。また、漏水が多い箇  
所や石綿管が布設されている場所を重点的に行うとと  
もに、災害時に水が供給できるよう、避難所等に水を  
供給する重要給水管路についても上流から整備した。

